鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	関係法規・制度	課　目	必修科目	時 間 数	30時間
授業方法	講義	評価方法	期末試験	実務経験	ー
目　標	美容師法を中心に、関係法令の内容を理解し、公衆衛生を担う社会的責任について理解できる。				
教 科 書	公益法人日本理容美容教育センター発行教材				

授業内容	
1	社会生活における法の役割
2	法の形式
3	衛生法規の概要
4	理容師法・美容師法と付属法令
5	衛生行政の意義と歴史
6	衛生行政の分類と生活衛生行政の内容
7	衛生行政を担う行政機関
8	理容師法・美容師法の目的
9	用語の定義
10	人（理容師・美容師）に関する規定
11	施設（理容所・美容所）に関する規定
12	立入検査と環境衛生監視員
13	違反者等に対する行政処分
14	罰則
15	関係法規

鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	衛生管理	課　目	必修科目	時 間 数	90時間
授業方法	講義	評価方法	期末試験	実務経験	美容師経験4年以上
経験活用	美容師として注意を払わなければならない環境衛生や感染症、消毒方法などを理解する				
教 科 書	公益法人日本理容美容教育センター発行教材				

授業内容	
1	公衆衛生の意義と課題
2	公衆衛生発展の歴史
3	理容師・美容師と公衆衛生
4	保健所と理容業・美容業
5	保健
6	環境衛生の概要
7	空気環境
8	衣服・住居の衛生
9	上・下水道と廃棄物
10	衛生害虫とネズミ
11	環境保全
12	人と感染症
13	病原微生物
14	感染症の予防
15	理容・美容と感染症
16	主な感染症
17	具体的な対策の例
18	消毒とは
19	消毒の意義
20	理容・美容と感染症美容の業務と消毒との関係
21	消毒法と適用上の注意
22	理学的消毒法
23	科学的消毒法
24	すぐれた消毒法とその実施上の注意
25	各種消毒薬
26	理容所・美容所の消毒の実際
27	理容所・美容所の清潔法の実際
28	理容所及び美容所における衛生管理要領
29	理・美容所の自主管理点検表

鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	保健	課　目	必修科目	時 間 数	90時間
授業方法	講義	評価方法	期末試験	実務経験	美容師経験4年以上
経験活用	頭部、顔部及び頸部を中心に人体の構造、機能、皮膚やその付属器官毛髪の詳細を理解できる				
教 科 書	公益法人日本理容美容教育センター発行教材				

授業内容	
1	頭部、顔部、頸部の体表解剖学
2	骨格器系
3	筋系
4	神経系
5	感覚器系
6	血液・循環器系
7	呼吸器系
8	消化器系
9	消化器系
10	皮膚の構造Ⅰ
11	皮膚の構造Ⅱ
12	皮膚付属器官の構造Ⅰ
13	皮膚付属器官の構造Ⅱ
14	皮膚の循環器系と神経系Ⅰ
15	皮膚の循環器系と神経系Ⅱ
16	皮膚と皮膚付属器官の生理機能Ⅰ
17	皮膚と皮膚付属器官の生理機能Ⅱ
18	皮膚と皮膚付属器官の保健Ⅰ
19	皮膚と皮膚付属器官の保健Ⅱ
20	皮膚と皮膚付属器官の保健Ⅲ
21	皮膚と皮膚付属器官の保健Ⅳ
22	皮膚と皮膚付属器官の疾患Ⅰ
23	皮膚と皮膚付属器官の疾患Ⅱ
24	皮膚と皮膚付属器官の疾患Ⅲ
25	皮膚と皮膚付属器官の疾患Ⅳ

鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	香粧品化学	課　目	必修科目	時 間 数	60時間
授業方法	講義	評価方法	期末試験	実務経験	－
経験活用	人体に有害に腹焚かないための正しい使用方法、安全に取り扱うために必要な知識を身につけさせる				
教 科 書	公益法人日本理容美容教育センター発行教材				

授業内容	
1	香粧品の社会的意義と品質特性
2	香粧品の期生
3	香粧品の安定性と取り扱い上の注意
4	香粧品と安全性
5	香粧品の対象となる人体各部の性状
6	水性原料
7	油性原料
8	界面活性剤
9	高分子化合物
10	色材
11	香料
12	その他の配合成分
13	ネイル、まつ毛エクステンション用材料
14	皮膚洗浄用香粧品
15	化粧品
16	クリーム・乳腺
17	その他の基礎香粧品
18	メイクアップ用香粧品の種類と剤形
19	ベースメイクアップ香粧品
20	ポイントメイクアップ香粧品
21	シャンプー剤
22	スタイリング剤
23	パーマ剤
24	ヘアカラー製品
25	育毛剤
26	芳香製品
27	特殊香粧品

鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	文化論	課　目	必修科目	時 間 数	60時間
授業方法	講義	評価方法	期末試験	実務経験	美容師経験4年以上
経験活用	美的感覚と表現力を養うと共に、美容やファッションの文化史を学ぶ				
教 科 書	公益法人日本理容美容教育センター発行教材				

授業内容	
1	日本の理容業・美容業の歴史
2	ファッション文化史　日本編　縄文・弥生・古墳時代～古代
3	ファッション文化史　日本編　中世～近世Ⅰ・Ⅱ
4	ファッション文化史　日本編　近代～現代①
5	ファッション文化史　日本編　現代②
6	ファッション文化史　西洋編　古代エジプト
7	ファッション文化史　西洋編　古代ギリシャ・ローマ
8	ファッション文化史　西洋編　古代ゲルマント
9	ファッション文化史　西洋編　中世ヨーロッパ
10	ファッション文化史　西洋編　近世Ⅰ
11	ファッション文化史　西洋編　近世Ⅱ
12	ファッション文化史　西洋編　近世Ⅲ
13	ファッション文化史　西洋編　近代Ⅰ
14	ファッション文化史　西洋編　近代Ⅱ
15	ファッション文化史　西洋編　現代Ⅰ
16	ファッション文化史　西洋編　現代Ⅱ
17	ファッション文化史　西洋編　現代Ⅲ
18	ファッション文化史　西洋編　現代Ⅳ
19	ファッション文化史　西洋編　近代Ⅴ
20	ファッション文化史　西洋編　近代Ⅵ
21	ファッション文化史　西洋編　近代Ⅶ
22	和装の礼装
23	洋装の礼装

鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	運営管理	課　目	必修科目	時 間 数	30時間
授業方法	講義	評価方法	期末試験	実務経験	ー
経験活用	接客の意義と技術、経営管理や労務管理の基本を理解し、運営上の管理手法を身につける				
教 科 書	公益法人日本理容美容教育センター発行教材				

授業内容	
1	経営が必要とされる理由
2	継続が難しい理由＝経営が必要な理由
3	経営とは何か
4	経営資源と経営計画
5	経営戦略
6	経営戦略が目指すもの　顧客に選ばれるよい店の実現
7	業界の概要
8	サービスとしての理容・美容
9	理容業・美容業の顧客について
10	資金管理の重要性
11	収支と損益
12	会計の考え方
13	コストを管理する
14	税金について
15	税金の申告
16	人という資源とは
17	人の能力を高める
18	人をやる気にさせるために
19	健康管理の基礎
20	理容・美容の仕事と健康
21	理容・美容の仕事と健康美容の作業環境に関する健康問題
22	社会人としての責任・理容業・美容業の従業員としての責任
23	顧客が求める価値
24	マーケティング
25	サービスにおける人の役割

鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	教養	課　目	選択科目	時 間 数	120時間
授業方法	講義	評価方法	出席状況・平常点	実務経験	―
経験活用	豊かな人間性を育み、総合的判断能力を養い、美容師として必要な教養を身につける				
教 科 書	SBS接遇マナー検定テキスト				

授業内容	
1	接遇・マナー　接客の心得Ⅰ
2	接遇・マナー　挨拶Ⅰ
3	接遇・マナー　敬語Ⅰ
4	接遇・マナー　接客マニュアル
5	コミュニケーションについてⅠ
6	コミュニケーションについてⅡ
7	自己紹介のポイントⅠ
8	自己紹介のポイントⅡ
9	美容室での業務の流れⅠ
10	美容室での業務の流れⅡ
11	接遇・マナー　接客の心得Ⅱ
12	接遇・マナー　挨拶Ⅱ
13	接遇・マナー　敬語Ⅱ
14	接遇・マナー　接客の心得Ⅲ
15	接遇・マナー　挨拶Ⅲ
16	接遇・マナー　敬語Ⅲ
17	スピーチの仕方Ⅰ
18	スピーチの仕方Ⅱ
19	接遇・マナー3級認定試験（学科）
20	接遇・マナー3級認定試験（実技）
21	キャリア研修

鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	美術	課　目	選択科目	時 間 数	40時間
授業方法	講義	評価方法	提出物・平常点	実務経験	ー
経験活用	美容を造形表現と捉え、そのために必要な造形力・表現力・知識を身につける				
教 科 書	なし				

授業内容	
1	オリエンテーション
2	石膏デッサンⅠ
3	石膏デッサンⅡ
4	点と線の説明と応用
5	面と形の説明と応用
6	平面デザインの基礎
7	平面デザインの応用Ⅰ
8	平面デザインの応用Ⅱ
9	立体構成の基礎Ⅰ
10	立体構成の基礎Ⅱ
11	美術史Ⅰ
12	美術史Ⅱ
13	絵画Ⅰ
14	絵画Ⅱ
15	絵画Ⅲ

鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	色彩	課　目	選択科目	時 間 数	30時間
授業方法	講義	評価方法	出席状況・平常点	実務経験	ー
経験活用	色の持つ文化的・感覚的な力を理解し、美容現場の実線に生かせる知識を習得する				
教 科 書	公益法人日本理容美容教育センター発行教材				

授業内容	
1	色彩と文化
2	日本の色の歴史
3	色と生活
4	色の種類
5	色のしくみ
6	光源の特性
7	眼の構造と動き
8	有彩色と無彩色
9	色の三属性
10	CUS色相
11	色調配色
12	色の三属性と対比現象
13	色の感情効果
14	CUS色相配色効果
15	パーソナルカラー検定

鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	美容技術理論	課　目	必修科目	時 間 数	150時間
授業方法	講義	評価方法	期末試験	実務経験	美容師経験4年以上
経験活用	シャンプー、カット、パーマ、カラー、日本髪、着付けなどの基礎的技術理論を身につける				
教 科 書	公益法人日本理容美容教育センター発行教材				

授業内容	
1	美容技術理論を学ぶにあたって
2	美容理論と美容技術
3	美容技術における作業姿勢
4	美容技術に必要な人体各部の名称
5	美容用具
6	美容技術における用具
7	シャンプーイングⅠ
8	シャンプーイングⅡ
9	ヘアデザイン
10	美容とデザイン
11	ヘアカッティングⅠ
12	ヘアカッティングⅡ
13	パーマネントウエービングⅠ
14	パーマネントウエービングⅡ
15	ヘアセッティングⅠ
16	ヘアセッティングⅡ
17	ヘアカラーリングⅠ
18	ヘアカラーリングⅡ
19	エステティック
20	ネイル技術
21	メイクアップ
22	日本髪
23	着付けの理論と技術

鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	美容実習	課　目	必修科目	時 間 数	900時間
授業方法	実習	評価方法	平常点・実技評価	実務経験	美容師経験4年以上
経験活用					
教 科 書	公益法人日本理容美容教育センター発行教材				

授業内容	
1	シャンプーイングⅠ　クロス掛け、ブラッシング
2	シャンプーイングⅡ　サイドシャンプー：すすぎ～タオルドライとターバン
3	シャンプーイングⅢ　バックシャンプー：すすぎ～タオルドライとターバン
4	ヘアカッティングⅠ　ワンレングスカット、グラデーションカット
5	ヘアカッティングⅡ　レイヤーカット、セイムレングスカット
6	ヘアカッティングⅢ　レザーカット
7	パーマネントウエービング　ブロッキング
8	パーマネントウエービング　ワインディング
9	パーマネントウエービング　ワインディングのバリエーション
10	ヘアセッティングⅠ　ヘアカーリング、ヘアウェービング
11	ヘアセッティングⅡ　ローラーカーリング、ブロードライスタイリング
12	ヘアセッティングⅢ　アイロンセッティング、アップスタイル
13	ヘアカラーリングⅠ　酸素染毛剤
14	ヘアカラーリングⅡ　酸性染毛料
15	ヘアカラーリングⅢ　塗布技術のいろいろ
16	エステティックⅠ
17	エステティックⅡ
18	ネイル技術Ⅰ
19	ネイル技術Ⅱ
20	メイクアップⅠ
21	メイクアップⅡ
22	メイクアップⅢ
23	着付け技術Ⅰ
24	着付け技術Ⅱ
25	着付け技術Ⅲ

鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	エステティック技術	課　目	選択科目	時 間 数	60時間
授業方法	実技	評価方法	平常点・実技評価	実務経験	美容師経験4年以上
経験活用	美しく健康な皮膚を維持する生理機能を整えるため磨ニュピレーションなどの技術を身につける				
教 科 書	SBSエステディレクターテキスト				

授業内容	
1	エステティック概論
2	ワゴンセッティング、ベッドメイキング
3	ポイントクレンジング、ハンドクレンジング、拭き取り
4	相モデル実習
5	ポイントクレンジング～ハンドクレンジング～拭き取り
6	皮膚の生理と構造
7	相モデル実習
8	フェイシャルマッサージ
9	皮膚の生理と構造
10	フェイシャルマッサージ～フェイシャルパック
11	皮膚の生理と構造、カウンセリング、スキンチェック
12	機器の取り扱い、スチーマー、ブラシクレンジング、吸引
13	マッサージ理論、衛生と消毒

鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	メイクアップ技術	課　目	選択科目	時 間 数	60時間
授業方法	実技	評価方法	平常点・実技評価	実務経験	美容師経験4年以上
経験活用	メイクアップ技術検定及び教育を通じ、基礎技術を身につける				
教 科 書	日本メイクアップ技術検定試験　公式テキスト2級3級				

授業内容	
1	オリエンテーション　試験要項・注意事項
2	メイクアップの効果・ツール、道具の手入れ
3	化粧品の定義
4	メイクアップの事前準備・技術中のスタンス
5	スキンケアテクニック
6	ベースメイクテクニックⅠ
7	ベースメイクの仕上がりの確認
8	チーク・ハイライト・ローライト
9	ベースメイクテクニックⅡ　ファンデーションブラシテクニック
10	ベースメイクテクニックⅢ　パウダーブラシテクニック
11	ポイントメイクテクニックⅠ
12	ポイントメイクテクニックⅡ
13	ポイントメイクテクニックⅢ
14	2級・3級試験の流れとセッティング
15	2級・3級試験

鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	ネイル技術	課　目	選択科目	時 間 数	60時間
授業方法	実技	評価方法	平常点・実技評価	実務経験	美容師経験4年以上
経験活用	手の手入れを行い、指先を美しくする基礎知識・技術を身につける				
教 科 書	SBSネイルディレクターテキスト				

授業内容	
1	オリエンテーション
2	ネイル理論Ⅰ　テーブルセッティング
3	ネイル理論Ⅱ　消毒・ファイリング
4	キューティクル理論Ⅰ　プッシュバック、プッシュアップ
5	キューティクル理論Ⅱ　ガーゼ、ニッパー
6	キューティクル理論Ⅲ　トータル
7	カラーリング、カラーオフ
8	ネイルアート
9	カラーリング～ネイルアート
10	ネイルアート

鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	着物着付技術	課　目	選択科目	時 間 数	60時間
授業方法	実技	評価方法	平常点・実技評価	実務経験	着付指導講師
経験活用	日本の伝統的な文化・風俗を学びながら、着付けの基礎技術を学ぶ				
教 科 書	SBS着付ディレクターテキスト				

授業内容	
1	オリエンテーション
2	留袖着付けⅠ
3	留袖着付けⅡ
4	留袖着付けⅢ
5	留袖着付けⅣ
6	留袖着付けⅤ
7	浴衣Ⅰ
8	浴衣Ⅱ
9	浴衣Ⅲ
10	振袖着付けⅠ
11	振袖着付けⅡ
12	振袖着付けⅢ
13	振袖着付けⅣ
14	振袖着付けⅤ
15	振袖着付けⅥ
16	花嫁着付け（講師によるデモンストレーション）
17	着付けまとめ

鹿児島県美容専門学校　衛生専門課程美容学科　シラバス

科 目 名	サロンワーク技術	課　目	選択科目	時 間 数	170時間
授業方法	実技	評価方法	平常点・実技評価	実務経験	美容師経験4年以上
経験活用	実務実習に向けた技術の習得と、サロンで実習を行う上で必要な知識の習得を行う				
教 科 書					

授業内容	
1	オリエンテーション
2	実習初日における心構え、事前準備
3	サロンにおけるオープン準備
4	サロン内の清掃方法について
5	レセプション対応　電話・来客対応
6	カウンセリングⅠ
7	カウンセリングⅡ
8	カッティングⅠ
9	カッティングⅡ
10	カラーリングⅠ
11	カラーリングⅡ
12	シャンプーイングⅠ
13	シャンプーイングⅡ
14	ブロードライⅠ
15	ブロードライⅡ
16	お客様来店～退店までの対応
17	まとめ